

2024年度 町田市スポーツ推進計画19-28後期アクションプラン進捗状況(主な実施事業)

基本目標1 スポーツへの参加機会の充実

(1) 子どものスポーツ推進

番号	取組項目			総括
	指標	目標値	実績値	
1-1-4	トップアスリートとの交流機会の創出			関係団体と連携し、トップアスリートとの多種多様な交流イベントや教室を実施できた。具体的には、市立小学校での2024年パラバリンピック銀メダリスト選手によるパラバドミントン体験会、Vリーグ所属選手によるバレーボール教室、元日本代表サッカー選手によるサッカー教室、元日本代表選手によるカヌー体験会、NHK紅白歌合戦にも出場経験のあるプロダンサーによるHIPHOPダンス教室などを実施した。既存の取り組みに加え、新しい競技の教室を開催し、年齢や性別を問わず、幅広くスポーツの楽しさを伝えることができた。今後も継続して、トップアスリートとの交流の機会を創出することで、市民のスポーツへの関心を高めていく。
	トップアスリートとの年間交流回数	17回	19回	
【新規】 1-1-5	部活動の地域連携の推進及び部活動指導員の活用			2024年度は、部活動地域連携検討委員会を5回実施することとした。検討委員会では、教員・生徒アンケートによる意識調査の分析、他地区の部活動地域連携・地域移行の取組についての分析、町田市立部活動の地域連携・地域移行に向けた方針及び計画や、市内地域連携モデル校の計画内容について協議を行った。アンケートによる意識調査の分析から、部活動の地域連携・地域移行に関する課題を把握することができた。今後は、決定した方針に基づき、部活動の地域連携の推進及び部活動指導員の活用に向けて、取組を実施していく。
	①町田市における部活動の地域連携に関する方針検討と決定 ②国や都の制度を活用した部活動の地域連携の推進	①方針決定 ②検討	①方針決定 ②検討	

(2) 働き盛り世代・子育て世代のスポーツ推進

番号	取組項目			総括
	指標	目標値	実績値	
1-2-3	家族で参加できるスポーツイベントの開催			特に参加者の少ない20代から40代の働き盛り世代・子育て世代に多く参加してもらえるよう、親子で楽しめるニュースポーツ体験コーナー(モルックやカーレット)の設置を行った。また、体育館周辺の近隣小学校や高齢者施設へのチラシ配布によるイベント周知を行った。体力テストの測定対象は20歳から79歳までであるが、ファミリーで楽しんでもらえるように、6～19歳の方の測定用紙を用意したほか、小学生以下には参加賞を用意し、幅広い年代の方にご参加いただけるよう工夫した。また、包括連携協定を締結した民間事業者と協力いただき、骨密度測定会を実施した。これらの取組みを行った結果、多くの子ども連れ家族にご参加いただくことができた。今後も、家族で参加できるスポーツイベントを開催し、働き盛り世代・子育て世代に、スポーツへの参加機会を提供していく。
	①すぼ一祭まちだ参加者数 ②市民体力テスト年間参加者数	①延べ2,700人 ②年180人	①延べ3,200人 ②年179人	

(3) 高齢者のスポーツ推進

番号	取組項目			総括
	指標	目標値	実績値	
1-3-2	温浴施設等を活用したスポーツ環境の充実			温浴施設棟の多目的室の開放事業(卓球)、ポッチャ・モルックの貸出及び体験イベントを実施し、延べ1,057人の方に参加いただいた。施設の開放事業や備品の貸出などを行うことで、多くの高齢者にスポーツにかかわる機会を提供することができた。今後も、取組み内容を充実させることで、より多くの高齢者がスポーツにかかわることができる機会を創出していく。
	高齢者の方がより参加しやすい教室の実施	実施	実施	

(4) 障がい者のスポーツ推進

番号	取組項目			総括
	指標	目標値	実績値	
1-4-2	小学生を対象とした障がい者スポーツ体験教室開催			パラバドミントン教室を市内小学校12校696人の児童に対して実施することができた。従前は1クラス1時間だったものを、今年度は、原則1クラス2時間実施として実施校を募集し、教室1回あたりの実施内容の充実を図った。なお、総合体育館では、ASVベスカドーラ町田のホームゲーム時にブラインドサッカーの体験教室を実施した。2025年度以降は、新たに日本財団パラスポーツサポートセンターより寄贈された、スポーツ・アクティビティ用車いす「パラサポ！ミライ」を活用し、市内の小学校の授業等での活用を図っていく。
	年間参加者数	1,200人	696人	
【新規】 1-4-4	障がい者スポーツ大会の開催			2024年11月2日に町田市立総合体育館で第51回障がい者スポーツ大会を実施した。市内福祉施設の障がい者及び個人の障がい者が参加した。各施設職員以外にも、スポーツ推進委員、障がい児スポーツ教室指導員、町田ライオンズクラブ、町田ガールスカウトなどのボランティアスタッフも数多く参加し、大会運営に携わった。競技としては、徒競走、パン取り競争、対抗リレー、玉入れ、ポッチャ、バドミントン、卓球、フライングディスクを実施した。また、観覧できるアトラクションとして、ASVベスカドーラ町田チアダンスチームFiore、利根川Kスタジオエアロピクスによるダンスを実施した。延べ参加人数:786人 今後も、障がい者スポーツ大会を通じて、障がい者の「する」スポーツ充実を図っていく。
	開催回数	1回	1回	

基本目標2 スポーツに関わる 人材と組織の充実

(1) スポーツを支える人材の育成

番号	取組項目			総括
	指標	目標値	実績値	
2-1-2	まちだサポーターズの活動機会の充実			2023年度と比べて、多摩ロードレースなどの大規模イベントが無かったことから、活動参加者は800人減少した。 案件の大多数を占める、FC町田ゼルビアホームゲーム開催時の活動については、クラブ担当者とまちだサポーターズの意見交換会を実施した。次シーズンに向け、活動参加者を増やしていきたい。 まちだサポーターズで企画したイベントや、スキルアップ研修の開催など、新たな取組みを実施したところ好評だった。 今後、より一層活動に参加しやすい環境を提供し会員の増加に繋がるよう努めていく。
	年間延べ活動参加者数	年 3,400人	年 2,625人	

(2) スポーツを支える団体の支援・育成

番号	取組項目			総括
	指標	目標値	実績値	
2-2-1	地域スポーツクラブの活動支援と地域活動の推進			地域住民を対象にした、イベント開催や講師派遣などを行うことで、地域の方との交流を深め、相互の連携を図りながらスポーツ推進を行うことができた。 「まちとも」との連携のほか、地域イベントへの参加・協力を通じて、引き続き地域住民と関係性を築き、地域に根差した活動の定着を図っていく。
	町内会自治会や小中学校等、地域コミュニティと連携したクラブ数	7クラブ	7クラブ	
2-2-3	まちだサポーターズの組織化			まちだサポーターズの自立化に向けた検討を行う、有志会員から構成される「総務班」の活動をとおして、会員の育成を図った。 10月には自主運営事業として、ボッチャ大会を実施し、50名が参加した。 スキルアップ研修では、11月に公益財団法人東京都スポーツ文化事業団 デフリンピック準備運営本部から講師を招き、2025年に開催されるデフリンピックについて理解を深めた。 引き続きまちだサポーターズと協働し、自主運営事業の支援や人材の育成などに取り組んでいく。
	まちだサポーターズの育成に関するスキルアップ研修やミーティングの実施状況	実施	実施	

基本目標3 スポーツ環境の充実

(1) 「する」スポーツ環境の充実

番号	取組項目			総括
	指標	目標値	実績値	
3-1-6	大学・企業連携によるスポーツ施設の市民利用拡大			サレジオ高専と和光大学と調整を行い、貸し出しが可能な施設や時間帯などについて、意見交換をし、今後の方向性について検討した。引き続き、協議を重ねながら、各団体が所有するスポーツ施設を市民が利用できるよう、調整を進めていく。 また、継続して実施している、東京家政学院大学でのテニスコート利用に関する連携事業では、施設利用者の利便性向上を図るため、受付業務の電子化を行った。 今後も利用者の利便性向上に努め、スポーツ施設の市民利用の拡大に努めていく。
	連携団体数	新規2団体調整	新規2団体調整	

(2) 「みる」スポーツ環境の充実

番号	取組項目			総括
	指標	目標値	実績値	
【新規】 3-2-1	大規模大会等開催時のシティプロモーション			2022年度から町田市で開催している「アクサプレイブカップ ブラインドサッカー日本選手権」では、ASVベスカドーラ町田と連携し、ブラインドサッカー体験会を実施した。 体験会当日は多くの方に参加いただき、大いに盛り上がりを見せた。フットサルをもとにしたスポーツであるブラインドサッカーは、フットサルと親和性が高いため、ASVベスカドーラ町田と日本ブラインドサッカー協会との連携強化が、相互の観客数増加や、町田市のシティプロモーションにつながった。 今後も大会主催者等と連携を図り、大規模大会等の開催に努め、町田市のシティプロモーションにつなげていく。
	-	実施	実施	
3-2-3	パブリックビューイング等の実施			ホームタウンチームの取組みとしては、FC町田ゼルビアが、南町田グランベリーパークや市内高齢者施設の他、ゼルビアアシストに加盟する飲食店を含め合計70回のパブリックビューイングを実施した。 また、町田ゆかりのアスリートを応援する取組みとしては、町田駅ペDESTリアンデッキのデジタルサインを活用し、パリオリンピック・パラリンピックに出場した選手情報を放映した。 今後もパブリックビューイング等を実施し、スポーツに関心を持つきっかけづくりに努めていく。
	-	実施	実施	

基本目標4 スポーツを通じたまちづくり

(1) スポーツ情報の発信

番号	取組項目			総括
	指標	目標値	実績値	
【新規】 4-1-2	ホームページやSNS等多様な媒体・手段を活用した運動動画等の情報発信			SNSを有効に活用し、各種取組みをPRすることができた。 今後も、より多くの市民がスポーツに関する情報を得られるよう、配信件数や投稿回数を増やすとともに、内容の充実を図っていく。 また、スポーツに費やす時間の捻出が難しい傾向にある、30代・40代の働き盛り・子育て世代でも、取り組むことができるよう、すきま時間や通勤途中などに、気軽に視聴できるよう、1分程度のショート動画を作成し、youtubeで公開した。今後もショート動画を中心に動画作成を続けていく。
	運動関連動画等の発信数	60件	166件	

(2) スポーツを通じたシティプロモーション

番号	取組項目			総括
	指標	目標値	実績値	
4-2-1	ホームタウンチームと連携したPR活動			Xを活用したチームのホームゲーム情報、試合結果等、チームに関連する情報発信を実施した。 2024年5月からペDESTリアンデッキに、Fリーグの開幕に合わせて横断幕、タペストリーを設置し、ASVベスカドーラ町田のチームカラーで染め上げることによって、一体感のある装飾を行い、気運醸成につなげることができた。 2025シーズンのJ1開幕戦に合わせ、町田駅ペDESTリアンデッキに横断幕、タペストリーを設置し、ゼルビアカラーに装飾すると同時に店内での応援ウィークを実施した。また、ペDESTリアンデッキに新たに設置されたウォールギャラリーへホームタウンチームの壁面装飾とポスター掲出を実施した。 今後もホームタウンチームと連携しPR活動を行うことで、シティプロモーションにつなげていく。
	-	実施	実施	